

令和5年度 第2回龍姫湖利用協議会 次第

日時：令和6年3月25日(月) 10:30～

場所：安芸太田町役場本館2階 第3会議室

1. 開 会

2. 協議会会長（町長）挨拶

3. 議事

（1）令和5年度事業報告及び決算報告 資料1 資料2

（2）令和6年度事業について 資料3

4. その他

5. 挨拶（温井ダム管理所長）

6. 閉 会

〈配布資料〉

出席者名簿

龍姫湖利用協議会規約

資料1 令和5年度事業報告について

資料2 ウォーターアクティビティ推進事業収支決算書

資料3 令和6年度事業について

参考資料1 わがまち❤️スポーツ事業活動報告（写真）

参考資料2 2024年水位低下放流

【令和5年度第2回龍姫湖利用協議会出席者名簿】

役職	団体等	役職	氏名	備考
会長	安芸太田町	町長	橋本 博明	
副会長	(一社) 地域商社あきおおた	事業本部長	寶珠 真一	
委員	国土交通省中国地方整備局 温井ダム管理所	所長	藤原 寛	
委員	広島県山県警察署	署長	三井 卓次	
委員	広島市安佐北消防署	署長	小田 富成	欠席
委員	太田川上流漁協組合	組合長	河野 幸治	欠席
委員	温井ネットワーク協議会	会長	佐々木 克己	
委員	温井自治会	自治会長	栗栖 誠	
	広島県山県警察署 地域交通課	課長	竹中 恒之	
	(一社) 地域商社あきおおた	課長補佐	志水 大将	欠席
	(一社) 地域商社あきおおた	係長	梅本 雅史	
事務局	安芸太田町	参事	木本 英哲	
事務局	安芸太田町 産業観光課	課長	菅田 裕二	
事務局	安芸太田町 産業観光課	主査	岩見 圭子	
事務局	安芸太田町 産業観光課	主任主事	佐々木 晃	

令和 5 年度事業報告について

1. 社会実験について

(1) 概要

実施主体 安芸太田町（龍姫湖利用協議会）

実施エリア 龍姫湖周辺エリア

実施期間 令和 5 年 4 月 1 日（土）～11 月 30 日（木）（244 日間）

※12 月も温井ダム管理所の了承を得てウェイクサーフィンのみ試験的に実施

実施事業者 (株) IRMANO、(一社) 地域商社あきおおた、らびっど kayak スクール、
温井ダムリゾート

実施内容 ①ウォーターアクティビティ

ウェイクサーフィン、スタンドアップパドルボード（以下 SUP）、カヤック
修学旅行（カヤック体験、ラフトピクニック体験）

②飲食及び物販

キッチンカー等による出店

(2) 結果

①ウォーターアクティビティ

内訳	月	ウェイクサーフィン	SUP	カヤック	修学旅行	合計
利用人数	4 月	0	0	6	0	6
	5 月	9	0	2	57	68
	6 月	28	0	0	0	28
	7 月	30	0	7	0	37
	8 月	42	0	0	0	42
	9 月	51	0	0	0	51
	10 月	18	24	20	19	81
	11 月	6	33	20	60	119
	12 月	11	0	0	0	11
	合計		195	57	55	136
売上	合計	4,875,000	363,000	259,000	830,885	6,327,885

②飲食及び物販

出店団体	温井ダムリゾート	ゴエンズカフェ
出店品目	炊き込みご飯 (300 円)、かき氷 (300 円) 唐揚げ (400 円) ドリンク (200 円) ポテト (300 円)	シェイク (400 円)、フランクフルト (300 円)、 ステーキサンド (600 円)
出店日	売上	
5 月 26 日 (金)	9,000 円	5,000 円
5 月 27 日 (土)	42,700 円	35,000 円
5 月 28 日 (日)	85,300 円	
合計	231,300 円	40,000 円

2. ウォーターアクティビティ推進事業（わがまち♥スポーツ）について

（1）情報発信媒体整備事業

①ホームページ制作、SNS アカウント作成

龍姫湖のウォーターアクティビティの情報発信を一元化。各団体の予約サイトへの誘因、周辺マップも掲載しエリアを一体的に発信する環境を整えた。

ホームページ URL 「<https://lakeryuki-wc.com/>」

Instagram アカウント名 「LRWC2023」



②プロモーションビデオ（PV）の製作

製作した PV はイベント等で使用した。（今後、Youtube や HP、SNS にも掲載予定）

③販促物の製作

リーフレットを 3,000 部製作し、町内外の観光施設に配布した。

④ロゴの製作

「複数の事業者を包括するニュートラルな表情」「現代的なアウトドアアクティビティのイメージ」をデザインコンセプトとして、ロゴを製作した。今後は、このロゴを活用して「Lake Ryuki Water Complex」の浸透を図る。



（2）受入環境整備

①案内看板（タペストリー）の設置

国道 186 号から湖面への導線が分かりづらいという声があったため、国道からの進入路入口に案内看板（タペストリー）を設置した。

②ゲートへの注意喚起看板の設置

通常、許可がない人は湖面への立ち入りができないが、関係者同行の場合も禁止事項があるため、利用者に周知するためゲートへ注意喚起看板を設置した。

③半円フラッグ

湖面周辺へフラッグを設置し、受入環境の雰囲気づくりを行った。

④休憩エリアの整備

これまで体験前の待合や、体験終了後の休憩場所がなかったため、テント、テーブル、イス等の購入により休憩エリアを設けることで、滞在しやすい環境をつくり、来訪者の満足度向上を図った。

⑤備品（SUP）の購入

SUP 本体は、三段峡で実施している SUP 体験と共用備品となっており、特に三段峡の繁忙期とな

る夏季には、SUP 本体の不足により龍姫湖での受入に対応できないことがあるため、新たに SUP 本体を購入し、季節を問わず龍姫湖での受入が可能な環境を整えた。

(3) 企画運営事業

「LakeRyuki'23AutumnParty!!」の開催（10月20日～22日）

①オープニングレセプションの開催（10月20日）

- ・施設紹介や現在の取組内容について説明、及び湖面での各種アクティビティのデモンストレーション見学を実施した。
- ・町、県（スポーツ推進課）、温井ダム管理所、温井自治会、観光連盟等の関係者を招待した。

②体験会の開催（10月21日、22日）

	カヤック	SUP	ウェイクサーフィン	テントサウナ
21日（土）	9人	13人	2人	
22日（日）	5人	3人	7人	
合計	14人 （町民11人）	16人 （町民6人）	9人 （町民1人）	
その他	21日は飲食販売（2事業者）、ヨガ、マッサージ、天然石販売を実施 22日は龍姫湖まつり開催（飲食はまつり会場で販売）			

3. 総括

(1) 評価点（成果）

- ・ルールに準じ、ウェイクサーフィンと他のアクティビティをエリア分けすることで、同時利用の際にも安全に運用することができた。
- ・進入ゲートに注意看板を設置し、許可なしでの立入禁止等を周知することができた。
- ・秋以外を経験したことにより、増水、渇水、強風等の自然現象、気候変動による環境変化と対応策を把握することができ、係留物もその都度対応することができた。
- ・期間を通して営業することができた。
- ・体験者から各アクティビティに対して満足度が高く、顧客が増えてきている感触がある。
- ・ウェイクサーフィン業界での認知度、ブランド力が高まってきている。

(2) 課題

①プロモーション不足・認知度不足

- ・情報発信媒体の製作が10月に完成したことで、今年度のプロモーションへの活用が限定的となった。認知度向上を図るため、「Lake Ryuki Water Complex」のHPやSNSだけでなく、各事業者のオウンドメディアも活用し、情報発信を行うことにより、次年度の更なる集客に向けた取組みを継続する。

②受付拠点整備

- ・現在は艇庫の一部で受付を行っているが、SUP等備品の追加購入も検討しており、艇庫が手狭になることも想定される。新たな受付拠点の整備に加え、トイレや更衣室等も整備することにより、受

入人数の拡大や利用者の満足度向上を図る。

③事業者間連携強

- ・近隣施設等と連携することにより安芸太田町全体の経済波及効果を図る。

④受入者数の拡大

- ・ウェイクサーフィン以外のアクティビティについては、利用者アンケート等により、より満足度の高い商品内容に改良し、利用者数の拡大を図る。
- ・ウェイクサーフィン以外のアクティビティは年間通して予約受付ができる体制づくりを行う。

ウォーターアクティビティ推進事業（わがまち♥スポーツ）収支決算書

1 収入

(単位：円)

項目	予算	決算額	差額	説明
補助金	2,000,000	2,000,000	0	町補助金 2,000,000 円
雑入	0	5	5	5 円
合計	2,000,000	2,000,005	5	2,000,005 円

2 支出

(単位：円)

項目	予算	決算額	差額	説明
情報発信媒体整備事業	1,000,000	968,000	▲ 32,000	基本素材（ロゴ） 88,000 円
				基本素材（ライティング） 33,000 円
				動画製作（撮影） 165,000 円
				動画製作（編集） 71,500 円
				HP（製作費） 220,000 円
				HP（デザイン） 165,000 円
				リーフレット（製作費） 49,500 円
				リーフレット（デザイン） 176,000 円
受入環境整備事業	500,000	992,280	492,280	サイン（ゲート看板デザイン） 33,000 円
				サイン（タペストリーデザイン） 33,000 円
				看板、タペストリー設置 140,250 円
				半円フラッグ 37,400 円
				半円フラッグ（ポール） 4,590 円
				半円フラッグ（デザイン） 16,500 円
				テント 330,000 円
				テント（横幕） 44,000 円
				テント（フレーム） 89,870 円
				テント（デザイン） 22,000 円
				テーブルセット（椅子付） 70,950 円
SUP 170,720 円				
企画運営事業	500,000	38,400	▲ 461,600	体験料補助 23,000 円
				チラシ製作・印刷費 13,200 円
				仮設トイレ汲み取り 2,200 円
手数料	0	1,320	1,320	振込手数料 1,320 円
合計	2,000,000	2,000,000	0	

3 決算額


収入の部	支出の部	繰越金
2,000,005	2,000,000	5

監査報告

諸帳簿及び計数について監査したところ、間違いの無いことを報告いたします。

令和 6 年 3 月 18 日

監事

藤原 寛 

令和6年度事業について

1.社会実験について

(1) 概要

令和5年度の社会実験では年間通じて（冬季除く）利活用できる場であることを確認することができたとともに、期間内に443名がウォーターアクティビティを体験した。龍姫湖周辺エリアをさらに民間に開かれたエリアとして有効活用し、安芸太田町の新たな観光拠点として認知度を高めることにより、龍姫湖周辺エリアを中心とした誘客事業の展開や、それに伴う収益的な効果創出の一環として、地域活性化を図るため、令和6年度も継続して社会実験を実施するもの。

利用ニーズの把握や営業活動の実態、収支状況等の整理を行い、令和6年度内に「都市・地域再生等利用区域の指定」を目指す。

(2) 選定事業者及び登録事業者

①ウォーターアクティビティ

NO	事業者名	代表者	体験内容
1	Lake Ryuki Water Complex	福田 真弓	ウェイクサーフィン、SUP カヤック、パックラフト、ラフトピクニック、テントサウナ

※上記団体は令和5年度社会実験対象団体が立ち上げた団体。

②飲食サービスの提供及び物販等

NO	事業者名	代表者	出店例
1	筒賀大銀杏マルシェ	河野 満	野菜、菓子、蕎麦
2	REVOLUCION	中村 暢孝	ドリンク、肉、カキ
3	(株) IRMANO	福田 真弓	ドリンク類、ウォーターアクティビティ関連用品等
4	TONQAL	佐藤 菜穂	カレー、唐揚げ、ラーメン、レモネード
5	LakeRyukiWaterComplex	福田 真弓	カレー、ハンバーガー、麺類、道の駅特産品等
6	(株) ダフネ	島末 透	ジェラート等

※温井ダム観光放流等の出店可能日を事務局より案内し、出店調整を行う。

2.ウォーターアクティビティ推進事業（わがまちスポーツ）について

(1) 目的

龍姫湖周辺エリアを安芸太田町の新たな観光拠点、誘客事業に展開することで、環境を活かした魅力増進、交流・関係人口の拡大、入込観光客数及び観光消費額の増加を図る。

(2) 事業内容

①情報発信関連

令和5年度に立ち上げた、HPの維持管理、リーフレットの更新を行う。

各種情報発信媒体を町内外へのプロモーションに活用し、誘客を促進する。

②受入環境整備

受付拠点がなくことから、新たな受付拠点を構え、受付、更衣室等を整備することにより、受入人数の拡大や利用者の満足度向上を図る。

③企画運営

大会及びイベント等の一部支援を行い、ウォーターアクティビティの認知度向上を図る。

(3) 予算について (予定)

収入

単位：(円)

区分	金額	備考
県補助金	3,250,000	広島県わがまち♥スポーツ補助金を活用
町補助金	3,250,000	
合計	6,500,000	

支出

単位：(円)

区分	金額	備考
情報発信関連	300,000	HP維持管理、リーフレット更新等
受入環境整備	5,500,000	受付拠点整備プレハブ、仮設トイレ購入設置 ライフライン関係工事等
企画運営	700,000	イベント一部支援等
合計	6,500,000	

※令和6年度は、「ウォーターアクティビティ推進事業補助金」として社会実験対象団体である「Lake Ryuki Water Complex」へ交付する。

※今後、龍姫湖利用協議会に補助金の入金を行わないため、令和5年度繰越金5円は令和6年度社会実験対象団体である「Lake Ryuki Water Complex」へ寄付する。

3. 今後のスケジュール等について

(1) 令和6年スケジュール (予定)

日程	内容
4月1日	社会実験スタート (令和7年3月31日まで)
7月27日、28日	ウェイクサーフィン大会 (予定)
10月20日	龍姫湖まつりと併催イベント (予定)

※イベントについては、「Lake Ryuki Water Complex」が主体となり実施する。

※龍姫湖利用協議会は必要に応じて開催する。

(2) 都市・地域再生等利用区域の指定（河川空間のオープン化）について

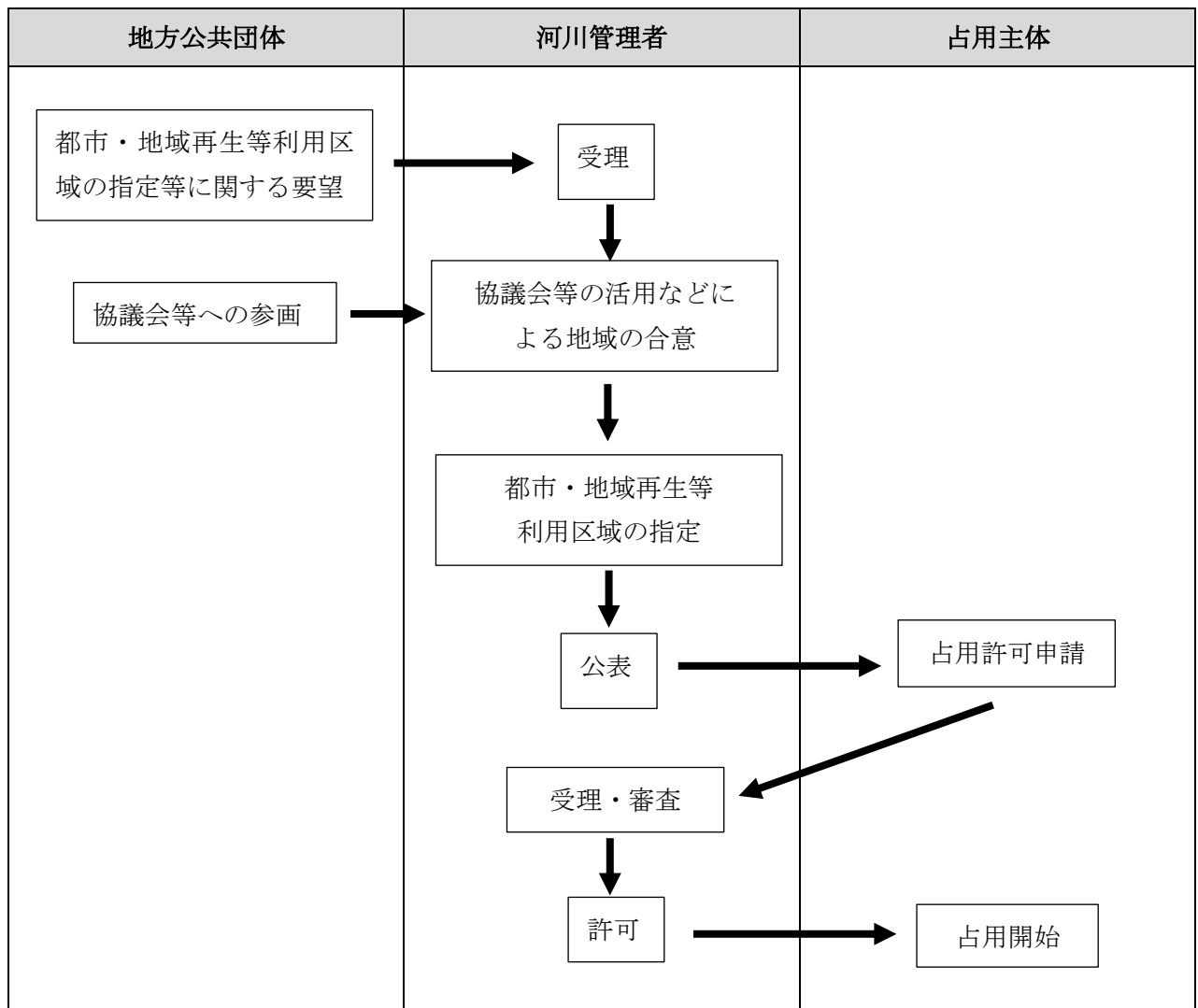
①概要

河川敷地の占用主体は原則として公共性・公益性を有する者であるが、河川敷地をにぎわいのある水辺空間として積極的に活用したいというニーズの高まりを受け、平成 23 年に河川敷地占用許可準則を改正し、一定の要件を満たす場合、「都市・地域再生等利用区域」を指定して、営業活動を行う事業者等も河川敷地の利用を可能としたもの。

②適用される要件

- ア 河川敷地を利用する区域、施設、主体について地域の合意が図られること
- イ 通常の占用許可でも満たすべき各種基準に該当すること。（治水上及び利水上の支障がないこと。）
- ウ 都市・地域の再生及び河川敷地の適正な利用に資すること。
- エ 都市・地域再生等利用区域において占用許可が可能な施設
 - ・ 広場、イベント施設、遊歩道、船着場
 - ・ 前述の施設と一体をなす飲食店、売店、オープンカフェ、広告板、広告柱、照明・音響施設、キャンプ場、バーベキュー場、切符売場、案内所、船舶修理場等

③手続きの流れ（例）



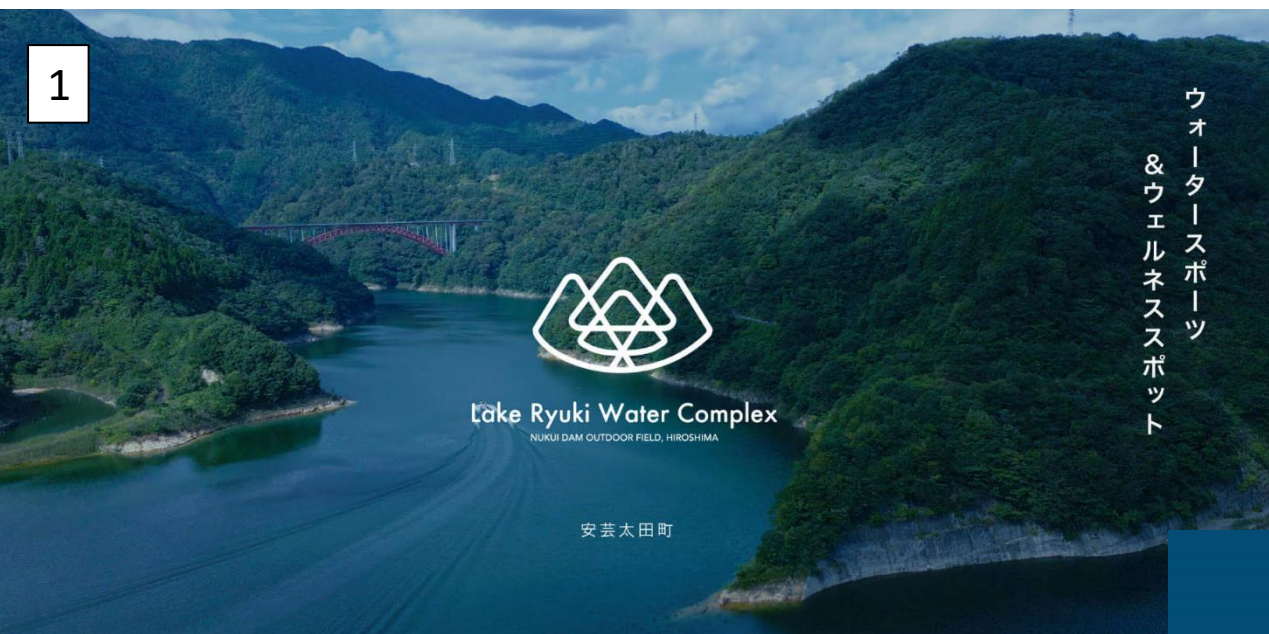
※28 都道府県で 116 事例あり（令和 5 年 8 月現在）

【情報発信媒体整備事業】

事業内容
HP、SNS、動画、リーフレット、ロゴの製作

「Lake RYUKI Water Complex」ホームページ

1



2



参考資料1

3

Water Activity & Wellness ※事前予約

ようこそ！ アクティビティ体験でのみ入れる特別な場所へ

KAYAK
山々に囲まれた穏やかな湖面。ペアクルーズで最上流部へ。らびっどがやックスクルール 090-7898-3736

SUP
美しい景色と柔らかい水。深い呼吸を求めレイクルーズ。一軒料理屋・味噌店・お土産店 0826-28-1800

WAKESURF
瀬上のゲレンデとエンドレスウェーブ、そして自分だけの時間。PUB WAKESURF 050-3703-1554

SAUNA
アフターレイクは、ココロとカラダにひとときの休息を。NUKUI DAM RESORT 0826-25-0141

4

Lake Ryuki & NUKUI DAM OUTDOOR FIELD

AREA MAP

Lake Ryuki Water Complex
NUKUI DAM OUTDOOR FIELD, HIROSHIMA

Address: 〒731-3501 広島県山形郡安芸太田町加賀2-7
Tel: 090-3703-1554
Mail: info@lakeryuki-wc.com
Web: http://lakeryuki-wc.com
Access: 中国自動車道 安芸太田ICから約13分 中国自動車道 戸河内ICから約17分
Parking: 約20 (無料)

< lrwc2023 🔔 ...



1 投稿する 3 フォロワー 0 フォロー中

Lake Ryuki Water Complex

スポーツ・レクリエーション施設

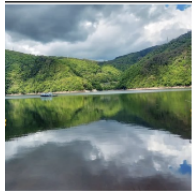
ようこそ、#龍姫湖へ！#wateractivitiesでのみ入れる特別な場所で、思い思いの#laketimeをお過ごしください。

lakeryuki-wc.com

フォロー中

メッセージ

連絡先



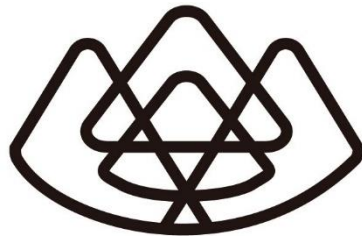
○デザインコンセプト

・複数の事業者を包括するニュートラルな表情をもち、
現代的なアウトドアアクティビティのイメージを創る



Lake Ryuki Water Complex

NUKUI DAM OUTDOOR FIELD, HIROSHIMA



Lake Ryuki Water Complex

NUKUI DAM OUTDOOR FIELD, HIROSHIMA

【受入環境整備事業】

事業内容
サイン看板の設置、半円フラッグ、テント、テーブル、イス、SUPの購入



国道沿いタペストリー



ゲート注意看板

テント



SUP



半円フラッグ



机・椅子



【企画運営事業】



10/21・22 @ 龍姫湖 (温井ダム湖) in 安芸太田町

らびっどkayak School 090-7898-3736

21・22日
安芸太田町民限定割引

大人(高校生以上)@1,000円割引
子ども@2,000円割引
※テントサウナ1室2,000円割引

らびっど Kayak School

温井ダムリゾート 0826-25-0141

21日

①10:00~②13:00~③15:00~
(最大2名乗り10艇/回)
所要75分@4,000円
対象:小学1年生以上
※小学生は保護者同乗必須

キッチンカーなど出店!
10時~15時
(温井スプリングス下・旧テニスコート)※22日もご利用いただけることになりました
※なくなり次第、終了

カヤック

ヨガ体験 (有料) も!

テントサウナ

Lake Time '23
Autumn Party!!

↑詳細こちらから↑

22日

龍姫湖まつり開催

①10:00~②13:00~③15:00~
(最大10名/回)
所要75分@4,000円
対象:小学1年生以上

SUP or カヤック + ウェイクサーフィン @10,600円→@10,000円

セット割引販売あり!

事前販売だけでなく、当日販売もあります!

ウェイクサーフィン

①9:30~②13:00~③15:30~
(最大3名/回)
体験20分(所要時間約90分)
初めての方限定料金 @6,600円
対象:10才以上かつ身長130cm以上

(一社)地域商社あきおた 0826-28-1800

PUBz WAKESURF PUBz WAKESURF 050-3703-1554

- ・体験には事前予約が必要です。それぞれの事業者に直接ご予約ください。
- ・町民割引を希望する場合は、予約時にお申し出ください。当日は町内在住であることを証明できる身分証をご持参ください。
- ・体験人数には限りがありますので、ご了承ください。
- ・当日の集合場所や持ち物等、ご不明な点は各事業者へお問い合わせください。



大迫力の放流

2024年 温井ダム水位低下放流



国土交通省 温井ダム管理所

2024年 水位低下放流カレンダー

	日	月	火	水	木	金	土
3月	17	18	19	20	21	22	23
	24	25	26	27	28	29	30
	①11:00 ②14:00						
4月	31	1	2	3	4	5	6
	7	8	9	10	11	12	13
	14	15	16	17	18	19	20
5月	21	22	23	24	25	26	27
	28	29	30	1	2	3	4
	5	6	7	8	9	10	11
6月	12	13	14	15	16	17	18
	19	20	21	22	23	24	25

- ・カレンダーの日付の下に書いてある時刻は、放流開始予定時刻です。
- ・1日に2回中位標高放流設備から放流を行います。(4/22のみ3回)
- ・1回の放流時間は、約15分間です。
- ・土、日、祝日には管理所側のしわい階段を開放します。

☆3/24(日) 限定！ 『ペットと観られるday』

通常はペット同伴のご入場を禁止しているエリアの一部(しわい階段、下流広場、地下エレベーター、見学トンネル)を3/24(日)限定でペット同伴のご来場者様にも開放します。

【お願い】以下の事項をお守り願います。

- ◆しわい階段 および下流広場ではリード装着+おむつ着用のこと。
- ◆エレベーター および 地下トンネルではケージまたはバッグに体の全部が納まっていること。

「しわい階段」とは...

温井ダム下流面の堤頂から底部に続く、管理用の階段(高低差が約100m)の愛称で、普段一般の方は立ち入ることができません。

「しわい」は「しんどい」「つらい」という意味の方言。

※ 駐車場、エレベーターが混雑することが予想されますので、余裕をもってお越し下さい。

※ 下流広場では水しぶきが舞い上がります。雨具のご持参をお勧めします。

※ 気象や河川、ダムの水量の状況等により、急遽な放流の中止や放流スケジュールの変更をする場合があります。



※ 放流した水は、いったん副ダムに溜めるので、下流河川が急に増水することはありません。

左のカレンダーに示す放流スケジュールに変更がある場合は、[温井ダムホームページ](#) と SNS X(旧Twitter) でお知らせします。



温井ダムホームページ



X(旧Twitter)

温井ダム水位低下放流の目的

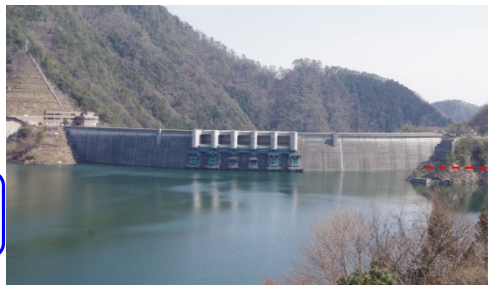
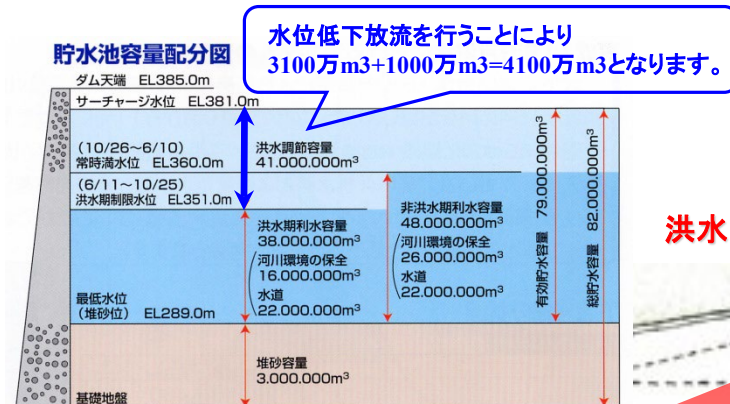


洪水に備えるための放流です！

水位低下放流とは、梅雨前線、局地的大雨及び台風等による洪水の恐れが多い時期(洪水期)に備えて、あらかじめダムの水位を下げて洪水を貯めるための容量を確保することが目的の放流です。温井ダムでは、この放流によって、管理する水位の高さを約9m下げること、1000万m³ほど洪水を貯めるための容量を増やすことができ、全体で4100万m³を洪水調節のための容量として活用します。

温井ダム容量配分図

- 非洪水期 10/26~6/10 (常時満水位 EL. 360.0m)
- 洪水期 6/11~10/25 (洪水期制限水位 EL. 351.0m)

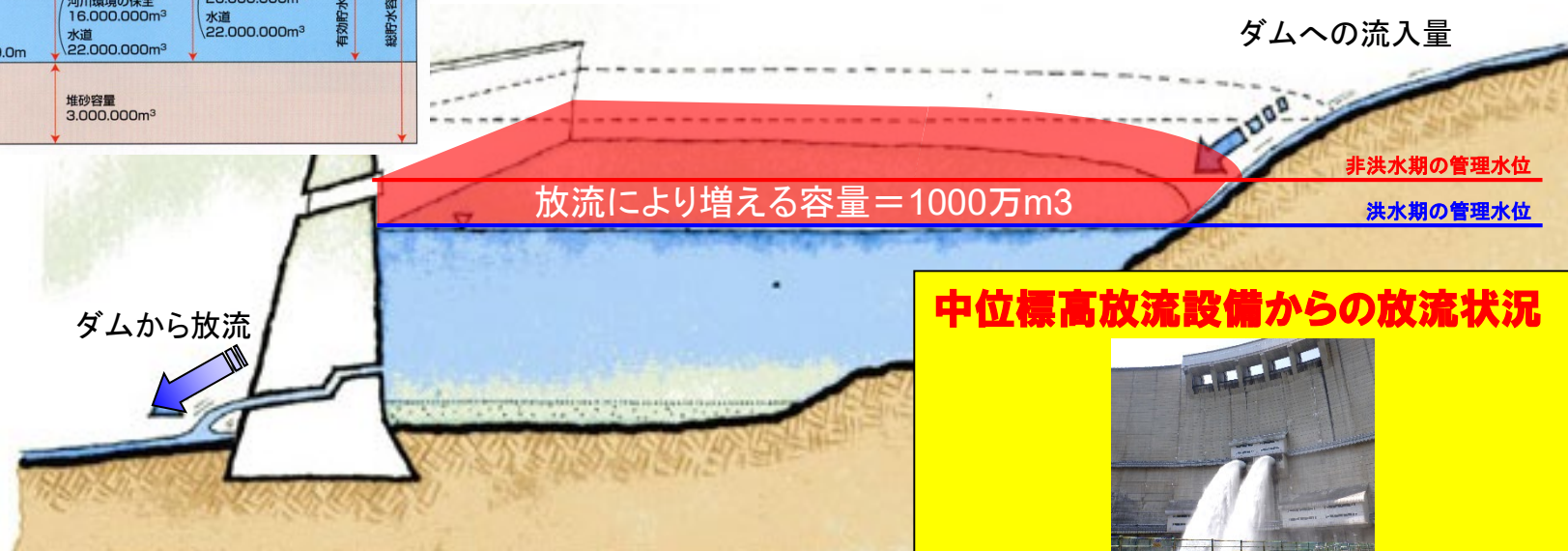


水位を低下する前のダム湖の水位



水位を低下した後のダム湖の水位

洪水に備えて洪水調節容量を確保するために管理水位を下げておきます。



落差約60m!